

前号掲載「徳川家継生母・月光院詠『車玉集』の翻刻と解題」正誤

田代一葉

本誌第六十一号掲載の拙稿「徳川家継生母・月光院詠『車玉集』の翻刻と解題」において、浅学による誤りが多数あるということを御指摘頂いた。謝して訂正をいたしたい。

また、内閣文庫蔵『車玉集』（2010628）を底本とすることや、内容面についても再考すべき点を御指摘頂いた。これについては、前号で調査できなかった新たな諸本を見いだすなど、善本といえるものが出てきた段階で改めて考察したいと考え、今回は翻刻の訂正にとどめることとした。

頁・行	誤	正	頁・行	誤	正
361・3	もりで	もりて	390・2	玉ひし。中にも	玉ひし中にも、
・6	山佰は	山住は	・4	われと法の月光	されど法の月光
・12	ならぶ梢	ならぶ梢	・8	御自草	御自筆
363・4	晩景	晩景	・8	宥澄	宥澄
364・7	珍重々々	殊勝々々	・10	兼源院	慈源院
367・6	峰の藤なみ	岸の藤なみ	・11	先故大納言どの	先故大納言どの、
・11	ころもがへうき	ころもかへうき	・12	猶造仏の影を	猶造仏の願を

388 ・ 14	386 ・ 8		384 ・ 17	381 ・ 7	379 ・ 6	377 ・ 4	372 ・ 1	371 ・ 7	370 ・ 16	・ 12
あけたの空	ならべ人		(ナシ)	みがゝれて	衣	堀幸端	うちの河風	またうすき	まつの花	衣がへうき
あけがたの空	ならべ人	かひは万代とても	くちせじなうちとの神	みがくれて	哀	堀幸瑞か？	うぢの河風	まだうすき	まつの色	衣かへうき
	・ 1	392 ・ 1	・ 10	・ 10	・ 8	・ 6	・ 4	391 ・ 3	・ 16	・ 14
	ともにささせぬ	功德平等の	兼源院	造仏成龍	法灯をとつてこがす紙 は菩提地のごとなり。	数	照覧の恐もあれど 供養したてまつる巻の	供養をとく	御自草御清書	やんごとなき御前
	ともにつきせぬ	功德平等	慈源院	造仏成就	法灯をとつてこがす。 紙は菩提地の土となり、	の数	(改行して行頭におく) 供養したてまつる。巻	供養をとぐ	御自筆御清書	やんごとなき 御前

〔付記〕 御批正と御教示を賜りました浅田徹先生に深謝申し上げます。